

科目ナンバリング									
授業科目名 <英訳>		ドイツ語I (6 Hコース) D1501 Primary German			担当者所属 職名・氏名		人間・環境学研究科 教授 田邊 玲子 非常勤講師 KOSZEGI, Matyas		
群	外国語科目群			分野(分類)				使用言語	日本語及びドイツ語
旧群	C群	単位数	12単位	週コマ数	3コマ	授業形態	演習 (外国語) (対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2025・通年		曜時限	月5・火5・木5		配当学年	全回生	対象学生	全学向
[授業の概要・目的]									
週三回の、集中的にドイツ語を学ぶコースです。 教科書は、ドイツ語を学ぶ外国人向けにドイツで作られたものを用い、ドイツ語のネイティブ・スピーカー (月、木) と日本人教員 (火) との連携で、最初からできるだけドイツ語での授業を行います。それにより、実際のドイツ語に慣れ、実践的なドイツ語能力を養うことを目指します。また、この教科書は、ドイツ語圏の日常生活や伝統・文化・芸術を紹介し、実際の生活や滞在のための準備となることも目的としており、そうしたことに触れて、ドイツ語圏をより親しく感じてもらいたいと思います。 この教科書では、文法事項に合わせて脈絡のない例文が出されるのではなく、実際のシチュエーションに合わせたドイツ語表現 (会話、手紙 / メール、記述文など) が、文法事項を織り込みながら提示されています。つまり、実際に使う表現を覚えるなかで少しずつ文法も身につけ、読み、書き、聞き、話す、という総合的な能力を育てるように構成されています。基本的に教科書にそって授業を進めていきますが、それとは別に、通常の文法・実習のクラス授業が一年間で扱う文法事項を補うために、日本人教員の時間には、教科書では扱われていない文法事項も扱います。 何よりも、授業に毎回出席することが肝心です。まったく新しい言語を学ぶのですから、最初は苦勞するかもしれませんが、外国語はとにかくまずは慣れです。休まずに続けることがなによりも大事です。 なお、このコースの受講生の多くが、二回生、あるいは三回生の時期に、京都大学との国際交流協定を結んでいるドイツの大学など、ドイツに留学しています。ドイツ留学を考えている方は、是非受講してみてください。									
[到達目標]									
ドイツ語での授業を行い、実践的なドイツ語能力を養ってゆくことを目的とします。 教科書は、ヨーロッパ言語共通参照枠の基準の A 1 がまとめられているものを用い、一年間で終えます。すなわち、A 1 の実践的ドイツ語能力をつけるとともに、京大のクラス授業で扱う初級文法のすべてを終えることが、到達目標です。 日常生活における具体的なシチュエーションでのやりとりや、ネットやメールを介しての情報のやりとりなども、組み込まれており、今現在のドイツ (語圏) の生活に無理なく溶け込める内容です。さらに、初級文法もすべて終えるので、次年度は中級の通常クラスの受講も可能です。									
[授業計画と内容]									
教科書はヨーロッパ言語共通参照枠の基準 Niveau A1が一冊にまとめられており、1年でこの教科書を終える予定です。全部で8ユニット24課あり、前期に1～4ユニット (1～12課)、後期に5～8ユニット (13～24課) を扱います。だいたい1回の授業あたり1課すすむことになります。 各ユニットの内容はだいたい以下のとおりです。									
----- ドイツ語I (6 Hコース) D1501(2)へ続く↓↓↓ -----									

ドイツ語I (6Hコース) D1501(2)

- ユニット1 自己紹介(挨拶、職業、家族)にはじまり、
- ユニット2 買い物(家具、その他)
- ユニット3 余暇活動 食事
- ユニット4 旅行、交通機関 一日の流れ、過去の出来事
- ユニット5 道の説明、住居、住環境
- ユニット6 約束、予約、計画、健康と医療
- ユニット7 身体、家事、規則
- ユニット8 衣服、気象、祝祭日

【履修要件】

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

【成績評価の方法・観点】

成績評価は、授業への参加度(50%)と、学期末試験(50%)に基づいて行います。
学期末試験は、ネイティブの教員による口述試験と、日本人教員による筆記試験を行います。

【教科書】

Sabdra Evans; Angela Pude; Franz Specht 『Menschen. Deutsch als Fremdsprache Kursbuch』(Hueber Verlag) ISBN:978-3-19-101901-3

【授業外学修(予習・復習)等】

まずは復習が大切です。新しい外国語を身につけるには、とにかく暗記して慣れることがいちばんの近道です。

授業に際してとくに予習が必要な場合は、事前に指示します。

【その他(オフィスアワー等)】

【主要授業科目(学部・学科名)】